

# あすなる

令和4年 9月22日  
中津川市立川上小学校  
学校だより 9月号

## 運動会の意味

校長 中山 英三

多くの保護者のご参会を得ながら、運動会が無事に終了いたしました。当日は子どもたちへの熱い声援や会場片付けのご協力など、誠にありがとうございました。

今年度の学校スローガンは『仲間や環境に主体的に働きかけ、自己肯定感を豊かに感じられる子の育成 ～ふるさと川上を愛し、ふるさと川上に生きる子～』です。全教育活動を通じ、私たちはこのスローガンの実現を目指します。もちろん今回の運動会づくりも、その例外ではありませんでした。

今年度もコロナ禍での開催でした。よって昨年度と同様に、感染予防を踏まえ、種目の内容や名前を一から新しく考えることにしました。タブレットを活用し、児童と保護者から種目に関する案を募りました。それらの案ひとつひとつを尊重し、つなぎ合わせながら、今年度の種目は決定されました。たとえば『復活！ドキドキ感染対策リレー』は古畑真優さん、三宅陽一朗さん、山下大智さん、原夢大さんの案を、『とぼぞ！とぼぞ！とぼぞー!!バンブーリレー』は林雅仁さん、安保彩陽さんの案を、『それ！ねえ！にげるかご！』は和合結七郎さん、吉村清那さんの案を、『クイズ！幸せの黄色いかさ』は田口結菜さん、原宏多さん、林雅仁さんの案を、それぞれまとめたものです。「運動会」という大行事に、児童たちが保護者とともに主体的に関わってくれたことをうれしく思います。

また今回は、コロナ禍でしばらく実施できていなかった『川上運動会の歌』『川上音頭』をプログラムに入れました。両者とも川上にしかない文化であり伝統です。『川上音頭』は、事前に藤野昌子さんと小縣かおるさん、安保いつさんに教えていただきました。事前練習の中、歌詞には川上の自慢が書かれていること、振り付けには「山を見上げる」「鮎が跳ねる」といった意味がちゃんとあること等を知り、子どもたちは「なるほど」と目を輝かせていました。子どもたちが「ふるさと川上」をこれまで以上に意識する機会となり得ていたら幸いです。

当日。PTA本部役員の方々の提案と準備により、開会式と閉会式でパパン！と花火が上がりました。あれは、大人たちからの、頑張る子どもたちへのエールなのでしょう。子どもたちが地域のあたたかな目に見守られていることを実感できる音でした。

競技も、当たり前のように盛り上がりました。仲間への声援を惜しまず、拍手を惜しまず。運動会を心の底から楽しむ子どもたちの姿は実にさわやかでした。3年生は係活動デビューの年となりましたが、本当に責任感をもって走り回っていました。高学年はリーダーの自覚にあふれていました。各学年立場は違えど、それぞれに貴重な経験を積めたのではないのでしょうか。

この運動会を通じ、川上小勤務2年目の私は「子どもの成長」をつくづく感じました。昨年度できなかったことが今年度はできている、四苦八苦していたことを平然とやっている、積極性、主体性、責任感が育っている…そういったうれしい発見が、けっこう多くあった気がします。運動会に向け、運動や特別な活動に集中的に取り組む中で、子どもたちは着実に力をつけてきました。その結果 運動会は、子どもたちの成長ぶりを確認し、それを共に喜び合う機会となり得ていました。

浮かぶ思いを整理もせず書き連ねましたが、本文章からも“運動会の意味”はいくつも読み取れるのではないのでしょうか。ただ、これはあくまで私見。それぞれの子にそれぞれの“意味”があったはずで、我が子にとってどんな“意味”があったのか、ご家庭でぜひ話題にしてみてください。

## 夏休みの一研究一作品

- くらしの知恵創作展出品**
- 1年 佐久間 惺さん「にゃんちゅう」
  - 2年 佐久間 唯さん「モササウルス」
  - 3年 三宅陽一朗さん「絶品グルメ地図」
  - 5年 古畑 真優さん「竹のいす」
  - 6年 吉村 大誠さん「和風ランプシェード」
- 科学作品展出品**
- 2年 安部 彩陽さん「あさがおの観察」
  - 6年 原 宏多さん「クモの研究」
- 郵便局貯金箱コンクール**
- 1年 山下 隼人さん「貯金箱」



「これ、僕のだよ」「私のはこれ」。校内作品展の会場に並べられた作品を指さし、子どもたちはうれしそうに話していました。自分の作品や研究に自信をもっていたのでしょう。夏休みにそれだけ努力した証ですね。実際、どれも見ごたえのある力作そろいでした。よくがんばりました！

なお、原宏多さんの「クモの研究」は、市の代表として東濃の科学作品展に出品されました。また、佐久間唯さんの「モササウルス」が市の審査で「きらめき賞」を、古畑真優さんの「竹のいす」が「奨励賞」を受賞しました。おめでとうございます！

## 中津川市読書感想文審査会校内代表

- 2年 吉村 清那さん「ばあばに笑顔をとどけてあげる」を読んで
- 2年 東野 鎮輝さん「オニじゃないよおにぎりだよ」を読んで
- 3年 原 夢大さん「みんなのためいき図鑑」を読んで
- 4年 田口 結菜さん「かあちゃん取扱説明書」を読んで
- 5年 大宮 蒼生さん「いやし犬まるこ」を読んで
- 6年 原 実乃梨さん「捨てないパン屋の挑戦 しあわせのレシピ」を読んで



## 臨時サポートスタッフの交代について

9月23日から、本校教頭の休職に伴う臨時サポートスタッフが鷹見光輝（中津川市立西小学校教頭）から井口史香（元 中津川市立山口小学校教頭）に代わります。井口は、鷹見が受け持っていた5年生の家庭科や会計事務などを引き継ぎます。

鷹見につきましては、短い期間でしたが地域のあたたかみを存分に感じたようで、素直で明るい川上の子どもたちとの別れを惜しんでおりました。地域や保護者の皆様には、在任中の鷹見に対するご厚情を誠にありがとうございました。それを引き継ぐ井口もまた、誠意をもって勤めさせていただきますので、引き続きのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

## P T A 奉仕作業へのご協力をありがとうございました

作業当日は大変に蒸し暑い日になりましたが、校地も壁沢川もとてもきれいになりました。地域の皆様、保護者の皆様のご協力に厚く感謝申し上げます。

コロナの影響でしばらく控えていた児童の参加を、今回は復活させました。地域の大人とともに働く経験は、子どもたちにとって貴重なものです。4年生から6年生までの児童が、草とりや草集めに気持ちよく汗を流しました。